



日章学園九州国際高等学校校長便り 神無月

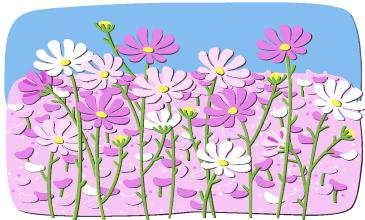
建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

学園スローガン：二倍の努力

学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、

自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和7年(2025年)10月1日(水)校長 屋田伸仁



## Youth青春



9月15日は敬老の日でした。厚生労働省は100歳以上の高齢者が全国で9万9763人になったと発表しました。宮崎県は1225人です。「人生100年時代」です。私は、敬老の日に地域の敬老会に呼ばれて、手品を披露しました。皆さん、とてもお元気でした。これからも、ますます元気に明るく過ごしてほしいので、サミュエル・ウルマンの“Youth”「青春」という詩を紹介しました。青春と聞いたら、どんなイメージがありますか？高校生から、20歳ぐらいの青年時代を想像する人が多いのではないでしょうか？ウルマンが言う「青春」は、違います。「青春とは、人生の一時期のことではなく、心のあり方のことだ。青春とは心の若さである。したがって、時には20歳の青年より、70歳の人に青春がある。」と言っています。高齢者に夢や希望、勇気、生きがいを与える詩ですね。長寿万歳！



## 丸くなるな、 星になれ。



9月は、1年で一番長く月が見えることから、長月と呼ばれています。秋の夜空は空気が澄んでいて、十五夜の満月はひときわ輝いて見えます。

さて、今回は月でなく、星について考えてみたいと思います。日本と大陸の国では星の形の見え方がどうやら違うらしいです。日本は、星は丸く見えます。日本は、湿度が高いので、ぼんやり丸く見えるのです。しかし、大陸の国の人達は、空気が澄んで星がとがって輝いて見えるらしいのです。大陸の人達は遊牧民、開拓民として夜空の星の位置を頼りに移動していたので、星の観察が生活の一部になっていました。中国国旗もアメリカ国旗も星の形がありますね。一方、日本では丸印が星に見立てられています。相撲では勝ち星は○、負け星は●として星取表に使われています。

ところで、某テレビコマーシャルに「丸くなるな、星になれ。」というキャッチコピーがあります。丸く平凡に生きるのでなく、スターのように輝いて生きようという意味が込められたメッセージだと思います。しかし、自分はスターになれないと最初から諦めている人もいるでしょう。丸くてもいいんです。平凡でも、毎日を楽しく、充実して生きている人こそ、輝いている人だと思います。



おかげさまで 創立30周年 since1995

NISSHOGAKUEN KYUSHU INTERNATIONAL HIGHSCHOOL

日章学園九州国際高等学校

